

\ Column 1 /

いざという時の

豆知識

大きな地震の発生直後は想定外の事態が多く、一般的な知識だけでは対応できないこともあります。そこで、今回は防災の豆知識として、役立つ3つのポイントをご紹介します。

公衆電話の使い方

「とる、入れる、押す」と覚えましょう！

皆さんは、公衆電話を正しく使えますか？ ポイントは、お金を入れる前に「受話器をとる」ことです。使えるのは10円玉と100円玉で、10円玉はお釣りが出ますが、100円玉はお釣りが出ないので要注意。使う際は「とる、入れる、押す」で覚えましょう！



缶切りがない時

道具を使わずに開けられます！

缶詰を開ける際に、缶切りがない！ そんな時は、円を描くように缶詰をコンクリートにこすりつけると、接合部分が取れて中の汁が出てきます。蓋を取る時にコンクリートのかげらなどが中に入らないよう注意してください。



ペットボトルの活用方法

蓋に穴を開け即席シャワーに

ペットボトルの蓋に小さな穴を10個ほど開けておくことで、手洗い用のシャワーになり節水につながります。ペットボトルの蓋は各社共通サイズが多いため、穴を開けた蓋を常備しておくといざという時に安心です。



情報発信元：警視庁 災害対策課 災害警備情報係

\ 少しずつ備えよう！ /

日頃からできる準備

現金や常備薬など緊急時アイテムの携帯

内閣府によると、飲料水と食料は最低3日分を用意しておくのが望ましいとのこと。非常時リュックを自宅に準備しておくのはもちろん、日頃から現金や常備薬、モバイルバッテリーなどを携帯しておきましょう。



災害用伝言サービスで家族の安否確認

電話でメッセージの録音や確認ができる災害用伝言ダイヤル(171)や、Webで伝言の登録や確認ができる災害用伝言板(web171)を活用することで災害などで被災地域への通話がつながりにくい状況でも、家族や友人とお互いの安否を確認できます。「171」と検索して確認しておきましょう。



画像は、NTT東日本・NTT西日本が提供している災害用伝言板(web171)

帰宅ルート・所要時間の確認

地震発生時は公共交通機関が停止し、帰宅が困難になる可能性があります。大学から徒歩での帰宅ルートや所要時間を事前に確認しておきましょう。帰宅ルートはプリントアウトして、常に鞆に入れておくとう便利です。



緊急速報メールなど情報収集手段を確認

各自治体が整備する「防災無線システム」や、電源に依存しない「防災ラジオ」などを利用すると、正確で素早く情報が得られます。また、「緊急速報メール」を真っ先に確認するのも、情報収集には効果的です。

連絡先リストなど緊急時メモの作成

地震発生時は携帯電話やインターネット環境が利用できない可能性も。家族や友人の連絡先リスト、避難場所の情報などは、事前にメモ帳やノートフォンのメモ機能にまとめておくとう便利です。

自宅や大学周辺のハザードマップを確認

各自治体がWebサイトなどで公開しているハザードマップで、自宅や大学、アルバイト先周辺の避難場所を、確認しておきましょう。大学内の避難場所については、12ページに詳しく掲載しているのでチェックしてください。

\ もしものの時の備えに /

大地震対応 Manual マニュアル

大きな地震が発生した時、あなたは冷静に行動できますか？

今回の企画では、大学内外での

災害対策や備え、豆知識を具体的に紹介します。

安心して学業に専念できる環境をつくりましょう！

稲垣陽太(社会学科3年)、森岡美羽(経営学科3年)、石田七海(フランス文学科3年)



ポンチョ型のアルミシートは寒い季節に重宝！

アルミシート

飲料水

非常食

手回し充電ラジオ

余震も心配！ヘルメットがあると安全に避難できます

ヘルメット

少なくとも3日分の水や食料は備えておきたいです

懐中電灯

タオル

軍手

防災リュック

ウェットティッシュ

モバイルバッテリー

レインコート

スマートフォン

簡易トイレ

地震発生時に役立つ情報をまとめました！

いつ起きるか分からない地震。そんな「もしも」の時、あなたはどうしますか。家にいる時、大学にいる時、アルバイト先にいる時など、さまざまな状況が考えられる中で、適切な行動が命を守ることに繋がります。日頃からできる準備や、地震が起きた際にどのような行動を取るべきなのかを知っておくことで、いざという時に冷静な判断をすることができます。

今回は永久保存版となるような、日頃の備えや豆知識、地震発生時に役立つ情報を凝縮してお届けします。白金・横浜キャンパスの避難場所も掲載しています。「大地震対応マニュアル」は学生課で配布中です。自分や周りの人の命を守るために役立ててください。

キャンパス内の避難場所もしっかり把握しましょう!

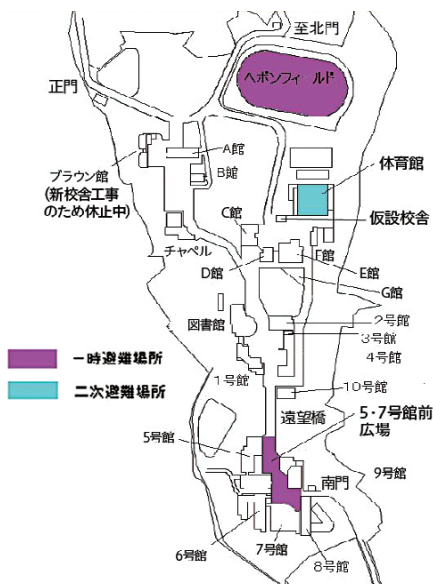
学生課で配布中!



明治学院大学「大地震対応マニュアル」を確認

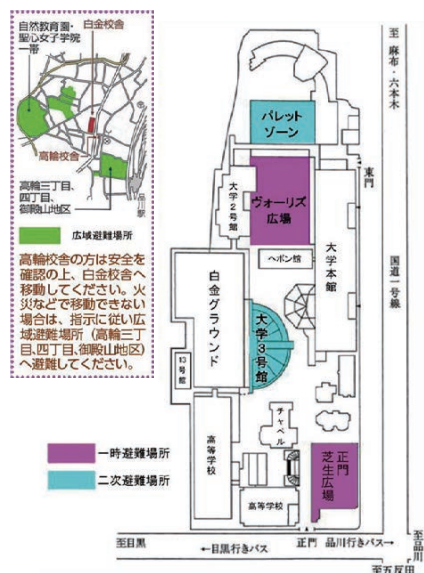
キャンパスにいる時に地震が発生した場合、まずはその場で身の安全を確保しましょう。その後、揺れが収まったら、大学の指示に従い、横浜キャンパスと白金キャンパス、それぞれの避難場所(右の地図を参照)に落ち着いて避難してください。詳細は、学生課にて配布している「大地震対応マニュアル」をご覧ください。

横浜キャンパス避難場所



横浜キャンパスでは、ヘボンフィールド、5・7号館前広場が一時避難場所、体育館が二次避難場所として想定されていますが、地震時の状況により安全な場所へ避難してください。

白金キャンパス避難場所



白金キャンパスの一時避難場所は、ヴォーリス広場と正門芝生広場の2カ所です。また、パレットゾーンと3号館が二次避難場所となっています。学内のどこにいても避難場所が近いので、落ち着いて避難しましょう。



高輪消防署・地域防災担当・消防士長 西本祐紀さん

Column 2 /

高輪消防署に聞きました!

地震が発生した時に、最も優先すべきことは、自らの身を守ることです。揺れが収まるまでは無理に行動せず、安全が確保された後に行動するようにしましょう。

で、一度話し合っておきましょう。また、学内のどこに消火器が設置されているのかをあらかじめ確認し、火災発生時には、慌てず消火できるように訓練しておくといでしょう。

災害時には、安否確認に災害用伝言板やSNSを活用するのも効果的です。学生同士や家族

冷静な判断と事前の準備が、いざという時に自らと大切な人の命を守るにつながります。